

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

契約担当官
航空自衛隊第11飛行教育団
会計隊長 杉山 貴啓

1 工事概要

- (1) 工 事 名 屋内プール漏水補修
- (2) 工 事 場 所 航空自衛隊静浜基地
- (3) 工 事 内 容 本工事は、以下の工事を行うものである。

・概要：プールユニットの防水及び塗装

- (4) 工 期 契約締結日 ～令和9年3月31日
- (5) 本工事は、工事内訳明細書の提出を義務付ける工事である。

2 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 防衛省における一般競争（指名競争）参加資格（以下「防衛省競争参加資格」という。）のうち、「建築一式」でD級以上の格付を受けていること。（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申し立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。）。
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申し立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者（（2）の再度級別の格付を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 一般競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び申請書記載の競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時点までの期間に南関東防衛局長から、工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（防整施（事）第150号28.3.31）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (5) 入札に参加しようとする者との間に資本関係又は人的関係がないこと。
- (6) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者でないこと。
- (7) 情報保全にかかる履行体制について懸念が存在する者又は業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者は入札参加を認めない。

【契約金額が4500万円以上（建築一式9000万円以上）の場合は、(8)を適用】

- (8) 次の基準を全て満たす監理技術者又は主任技術者（以下「監理技術者等」という。）を当該工事に専任で配置できること。

ア 一級建築士又はこれと同等以上の資格を有する者である。【建築工事の場合】

イ 過去15年の間に同類と認める工事の経験を有する者である（原則、着工から完成まで従事している。）。

なお、当該経験が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては、評定点合計が65点未満のものを除く。また、経験が工事成績相互利用登録機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除く。

ウ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者である。

3 入札手続等

- (1) 担当部隊等
〒421-0293 静岡県焼津市上小杉1602
航空自衛隊第11飛行教育団（静浜基地）会計隊契約班（杉山）
TEL 054-622-1234（内線287, 322）
FAX 054-662-1452

- (2) 入札説明書等の交付
 - ア 令和8年10月9日 から 令和8年11月18日 まで(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)第1条第1項に規定する行政機関の休日(以下「行政機関の休日」という)を除く。)の毎日、午前8時15分から午後5時まで。
 - イ 交付場所
 - (1)に同じ
 - ウ 交付書類
 入札説明書、仕様書、申請書、資料、その他契約担当官が必要と認めるもの
 - エ 交付方法
 手交
 なお、公告とともに公示している場合は、静浜基地ホームページの調達情報から入手可能である。
- (3) 申請書、資料及び資格審査結果通知書の提出期限等
 - ア 提出期限
 令和8年10月29日 午後5時00分
 - イ 提出方法
 持参又は郵送(書留郵便に限る。)若しくは託送(書留郵便と同等のものに限る。)(以下「郵送等」という。)する。
- (4) 入札書等の提出期限等
 - ア 提出期限
 令和8年11月16日 午後5時00分
 - イ 工事費内訳明細書
 工事費内訳明細書についても、入札書と同時に提出するものとする。
 - ウ 提出方法
 持参又は郵送等
- (5) 開札の場所及び日時
 - ア 日時 令和8年11月19日 午前10時00分
 - イ 場所 航空自衛隊静浜基地 厚生センター1フロビー

※ 入札書及び工事費内訳明細書を各々封筒に入れて封かんし、入札書を入れた封筒の表に「入札書在中」と朱書きする。さらにこれらを1つの封筒に入れて封かんし、封筒の表に工事名、開札日時及び商号又は名称を記載の上、提出する。また、一般競争参加資格確認通知書(入札説明書第7項第1号に示すもの)又はその写しを提出する。

4 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札保証金
 - 免除
- (3) 契約保証金
 - 免除。ただし、落札者は、公共工事履行保証証券又は履行保証保険契約に係る証券による保証(引き渡した工事目的物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの(以下「契約不適合」という。))である場合において当該契約不適合を保証する特約を付したものに限る。)を付するものとする。この場合の保証金額は、請負代金額の10分の1(予決令第86条の調査を受けた者との契約については10分の3)以上とする。
- (4) 入札の無効 次に掲げる入札は無効とする。
 - ア 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札
 - イ 申請書、資料を含む提出書類に虚偽の記載をした者のした入札
 - ウ 入札に関する条件に違反した入札
- (5) 落札者の決定方法
 予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、そのものにより当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなる恐れがあつて著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者を落札者としてすることがある。
- (6) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条の規定に基づいて作成された基準(以下「調査基準価格」という。)を下回っている場合は、予決令第86条の調査(以下「低入札価格調査」という。)を行うので、協力しなければならない。
- (7) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係者として防衛省が発注する工事等から除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者とは契約を行わない。
- (8) 契約書作成の要否
 - 要
- (9) 適用する条項
 本工事は、航空自衛隊標準契約条項建設工事請負契約条項、適用契約条項及び暴力団排除に関する特約条項(工事契約書)を適用する。
- (10) 資料のヒアリングを行う場合がある。
- (11) 関連情報を入手するための照会窓口
 - 3 (1)に同じ
- (12) 競争参加資格の級別の格付けを受けていない者の参加
 - 2 (2)に掲げる競争参加資格の級別の格付けを受けていない者も3 (3)により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に於いて当該資格の格付けを受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (13) 詳細は入札説明書による。

入札書

令和8年11月19日

契約担当官
航空自衛隊航空教育隊
会計隊長 杉山 貴啓 殿

貴通知・公告に対し、入札(見積)及び契約心得・標準契約条項等承知の上、下記のとおり入札致します。

$$\Upsilon$$

住所

会社名

代表者名

印

工 期 契約締結日～令和9年3月31日
工事場所 航空自衛隊静浜基地

内 訳

[illegible]

委任状

令和8年11月19日

契約担当官
航空自衛隊航空教育隊
会計隊長 杉山 貴啓 殿

件名： 屋内プール劣類補修

委任事項

- 1 入札書及び見積書の提出に関する一切の権限
- 2 契約の締結、契約の履行並びに代金の請求に関する一切の権限

代理人・氏名 _____ 印

委任者
住 所
会 社 名
代表者名 _____ 印

一 般 競 争 参 加 資 格 確 認 申 請 書

令和 年 月 日

契約担当官
航空自衛隊第 1 1 飛行教育団
会計隊長 杉山 貴啓 殿

住 所 :

商号又は名称 :

代 表 者 氏 名 :

令和8年10月9日 付けで入札公告のありました 屋内プール漏水補修
に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。
なお、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当する者
でないこと及び添付書類の内容について事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 入札説明書5(2)に定める防衛省競争参加資格（資格審査結果通知書）の写し
- 2 入札説明書6(2)アに定める同種の工事の施工実績を記載した書面
- 3 入札説明書6(2)イに定める配置予定の技術者の資格等を記載した書面

以上

同種の工事の施工実績

会社名 : _____

工 事 名 称 等	工 事 名	
	発 注 機 関 名	
	施 工 場 所	(都道府県名、市町村名を記入する。)
	契 約 金 額	(百万円単位で記入する。)
	工 期	年 月 ～ 年 月
	受 注 形 態 等	単体 / JV (出資比率)
工 事 概 要	構 造 形 式	
	規 模 ・ 寸 法	
	使用機材・数量	
	施 工 条 件	(市街地・軟弱地質等)
	そ の 他	
CORINS登録の有無		有 (CORINS登録番号) ・ 無

- 注： 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。
- 2 CORINS登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINSの登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。
- 3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（防衛施設局及び防衛施設支局を含む。）の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。

配置予定の技術者

会社名：_____

項	目	主任技術者又は監理技術者
氏	名	
最	終	学 歴
		(学校名、学科名及び卒業年次を記入する。)
	法令による資格・免許	(施工管理技士、建築士等の名称及び取得年月、監理技術者資格の取得年月日、登録番号及び登録会社並びに監理技術者講習の年月日及び修了証番号を記入する。)
工事の 経験の 概 要	工 事 名	
	発 注 者 名	
	工 事 場 所	(都道府県名、市町村名を記入する。)
	契 約 金 額	(百万円単位で記入する。)
	工 期	年 月 ～ 年 月
	従 事 役 職	(現場代理人、主任(監理)技術者等の名称)
	工 事 内 容	
	CORINS登録の有無	有 (CORINS登録番号) ・ 無
申請時 におけ る他の 工事の 従事状 況 等	工 事 名	
	発 注 者 名	
	工 期	年 月 ～ 年 月
	従 事 役 職	(現場代理人、主任(監理)技術者等の名称)
	本工事と重複する 場 合 の 対 応 措 置	
	CORINS登録の有無	有 (CORINS登録番号) ・ 無

注：1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。

2 CORINS登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINSの登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。

3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（防衛施設局及び防衛施設支局を含む。）の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。

工事費(業務費)内訳明細書

入札件名: 屋内プール漏水補修

工事場所: 航空自衛隊静浜基地

工 期: 契約締結日 ~ 令和9年3月31日

令和 年 月 日

(提出業者)

住所

会社名

代表者名

内 訳 書

[illegible]

(明細別内訳)

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単価	金 額	備考
建築工事						
1 仮設工事						
(1) 養生（内部改修）	搬出入路部分	61.9	m ²			
(2) 整理清掃後片付け	搬出入路部分	61.9	m ²			
(3) 整理清掃後片付け	個別改修（施工場所）	750	m ²			
				小計		
2 防水工事						
(1) 底板接合部補修	FRPオーバーレイ2プライ W120	452	m			
(2) 側板接合部補修	FRPオーバーレイ3プライ W120 ボルト締め含む	29	箇所			
(3) 側板接合部コーキング 打替え	立面・オーバーフロー部	29	箇所			
(4) ガーター破損部補修	上面FRPオーバーレイ 2プライ W300	90	m			
(5) クラック・膨らみ補修	底板・側板 30か所程度	1	式			
(6) 敷砂	0.074mm、ふるい通過率20% 以下 3t車程度	1	式			
				小計		
3 塗装工事						
(1) レーンライン塗装	紺色 1回塗り W200 側板、クロスマーク共	7	本			
(2) 距離ライン塗装	赤色 2回塗り W250 側板共	3	本			
				小計		
4 漏水検査	水張り(満水)検査 循環口メクラ栓処置	1	式			
5 石綿対策	飛散防止措置等	1	式			
6 発生材処分						
産業廃棄物収集運搬		1	式			
				合計		

別紙様式第 5

(用紙 A 4)

(和暦) 年 月 日

誓 約 書

契約担当官

航空自衛隊第 1 1 飛行教育団

会計隊長 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

弊社は、過去 5 年間に防衛省発注の工事（業務）を完成（完了）・引渡ししておりますが、その際、契約条項に則り守秘義務に努めておりました。今回、本工事（業務）を受注する際には、過年度の契約と同様に、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員（持分会社にあっては社員を含む。）、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

別紙様式第 6

(用紙 A 4)

(和暦) 年 月 日

誓 約 書

契約担当官

航空自衛隊第 1 1 飛行教育団

会計隊長 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

弊社は、本工事（業務）を受注する際には、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員（持分会社にあっては社員を含む。）、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

仕 様 書

- 1 工事件名：屋内プール漏水補修
- 2 工事場所：航空自衛隊静浜基地
- 3 工 期：契約締結から令和9年3月31日
- 4 工事概要：本工事は、プールユニット(FRP製50m×7コース)の防水及び塗装工事を実施するものである。
- 5 一般事項
 - (1) 本工事は、本仕様書及び関係法令による他、記載されていない事項は次の規定による。
 - ア 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「建築標準仕様書」という。）
 - イ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「建築改修標準仕様書」という。）
 - (2) 本工事の実施に当たっては、適用を受ける関係法令等（条例を含む。）を遵守し、材料の選定・品質性能の確保・工法の選定・検査方法等を行うものとする。
 - (3) 本工事の施工に当たっては、設計図書（公共建築工事標準仕様書 1.1.1一般事項（2））に明記なき事項といえども、技術的及び取合い上実施すべき事項については、請負業者の負担において実施する。
 - (4) 本仕様書の内容に疑義が生じた場合並びに現場の収まり及び取合い等の関係で本仕様書によることが困難若しくは不都合な場合は、官側と協議するものとする。
 - (5) 本工事に携わる施工者（下請け人を含む。）は、静浜基地への立入り及び静浜基地内での行動は、静浜基地諸規則及び監督官の指示に従うものとする。
 - (6) 基地内の既存施設等の保護には十分注意を払うものとし、故意又は過失により破損した場合は、請負業者の負担において原状に修復するものとする。
 - (7) 本工事により知り得た自衛隊及び基地に関する情報は、他に漏洩及び転用してはならない。
 - (8) 携帯型情報通信・記録機器を持ち込む場合又は使用する場合は、監督官の指示に従い適切な保全処置を行うものとする。
 - (9) 本工事に必要な関係書類を作成するパソコン等は、情報流出防止に万全を期するため、ファイル交換ソフトをインストールしていないものを使用すること。
- 6 共通事項
 - (1) 請負業者は 500万円以上の工事を請け負う場合、工事实績情報システム（CORINS）への登録（（一財）日本建設情報総合センター）を行うものとし、登録期日は、公共建築工事(改修) 標準仕様書1.1.4によるものとする。
 - (2) 請負業者は施工体制の適正化を図るために、「建設業法(第24条の8)」及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(第15条)」

工事件名	屋外プール漏水補修	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	

に基づき、施工体制台帳及び施工体系図を作成し、監督官に提出するとともに、工事関係者が見やすい場所に掲示する。

(3) 本工事の着手に先立ち、工程表を作成し、監督官の承諾を受けるものとする。

(4) 本工事は、完全週休2日制工事（土日）の試行対象工事である。

ア 週休2日の考え方

(ア) 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、原則として土曜日及び日曜日を現場閉所（現場休息）日に指定し、2日以上現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。ただし、対象期間の日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っていれば、達成しているとみなす。また、土曜日又は日曜日に現場作業を行うこととされている場合は、受発注者間で協議した上で、当該曜日に代わる曜日を現場閉所日（現場休息日）に指定するものとする。

月単位の週休2日とは、対象期間内における全ての月で現場閉所（現場休息）日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。

通期の週休2日とは、対象期間において、28.5%（8日／28日）以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められることをいう。

なお、降雪、出水期、猛暑日等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。

(イ) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始6日間及び夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。

(ウ) 現場閉所日とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された日をいう。

イ 現場閉所実績報告書

受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、翌月10日までに監督官へ提出するものとする。ただし、工事完成月については、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。

ウ 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工事工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。

(ア) 建設工事に従事する者の休日（週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保

(イ) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」

(ウ) 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」

(エ) 降雪、出水期、猛暑日等の作業不能日数

工事件名	屋外プール漏水補修	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	

エ 工事工程の共有

- (ア) 工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
- (イ) 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。
- (ウ) 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
- (エ) 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。

オ 現場閉所の達成状況及び精査

対象期間における全ての週において完全週休2日（土日）が達成できていない又は月単位の週休2日が達成できていない場合は、補正した労務費（公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員及び機械設備据付工）、共通仮設費率、現場管理費率及び市場単価等を請負代金額の変更により減額するものとする。

- (5) 本工事は競争参加資格確認申請書を提出し、競争参加資格に適合した者に対して、入札説明書に示す入札書の提出期限の6日前（行政機関の休日を除く）までに見積参考資料を交付する試行工事である。

なお、「見積参考資料」は、契約書第1条の設計図書ではなく、見積上の参考資料であり、その有効期限は、本工事の開札日までとする。

- (6) 火気を使用する場合は、事前に監督官へ届け出るとともに、火気等の取扱いに十分注意し、火災防止の措置を講ずる。

- (7) 発生材の処理等

ア 建設廃棄物の運搬及び置き場（仮置き場を含む。）は、監督官の指示に従うものとする。

イ 建設廃棄物（金属類以外）は、請負業者において処理するものとし、処理する建設廃棄物については、マニフェストの複写を監督官に提出するものとする。

ウ 請負業者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他の関係法令による他、「建設副産物適正処理推進要綱（国土交通省事務次官通達）」、「建設工事における再生資源の活用について（通達）（装技調第44号）」を遵守し、適正な処理を行うこと。

エ 監督官の指示する発生材は、発生材の種類ごと計量し、監督官の指示した場所に集積するものとする。

- (8) 材料及び品質等

ア 本工事に使用する材料等は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（「グリーン購入法」最新版）」に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努めるとともに、本仕様書に定める品質及び性能を有するものとする。ただし、JIS若しくはJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りではない。

工事件名	屋内プール漏水補修	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	

イ 本工事で使用する材料等において、J I S若しくはJ A Sのマーク表示の無い材料を使用する場合は、次の(ア)～(カ)の事項を満たすとともに、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督官に提出して承認を受ける。

- (ア) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- (イ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- (ウ) 安定的な供給が可能であること。
- (エ) 法令等に定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
- (オ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- (カ) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

なお、商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、事前に監督官の承認を受けること。

(8) 施工管理

ア 工事写真等

工事写真の撮り方は、「営繕工事写真撮影要領（国土交通省）最新版」を基準とする。

イ 提出書類

書 類 名 称	定 型	提出
着工届	官側書式	○
施工計画書	任意書式	○
施工台帳	任意書式	○
現場代理人・主任技術者設定通知書 現場代理人・主任技術者略歴書	官側書式	○
使用材料承認願	官側書式	○
施工写真綴	任意書式	○
発生材調書	官側書式	○
工事完成通知及び工事完成検査願	官側書式	○
引渡書	官側書式	○
関係省庁への届出書類	関係法令等の示す書式	○
マニフェスト	A表の写し	○
その他（監督官が指示する書類）	都度示す。	○

7 特記事項

(1) 仮設工事

ア 養生

既存施設部分、工事目的物の施工済み部分等について、汚損しないよう適切な養生を行う。

イ 後片付け

工事の完成に当たり、建築物等の内外の後片付け及び清掃を行う。

(2) 防水工事

ア 本工事は、ヤマハ発動機（株）プールユニットを、製造メーカー推奨による施工方法及び材料により漏水補修を実施するものである。

イ 部材の接合部、目地部の充填等のシーリングは、公共建築改修工事標準仕様書3章7節による。

(3) 材料の検査等

工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督官の検査を受ける。ただし、あらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りではない。

工事件名	屋内プール漏水補修	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	

(4) 漏水検査

ア 検査要領

プールユニットの循環吐出口及び吸込口をメクラ栓で処置し、水張り（満水）検査を実施すること。

イ 水道

検査に係る水道は、請負業者負担とする。

なお、満水容量は1,238m³を基準とし、請負業者に適用する基地水道料金単価は173.81円である。

(5) 石綿対策

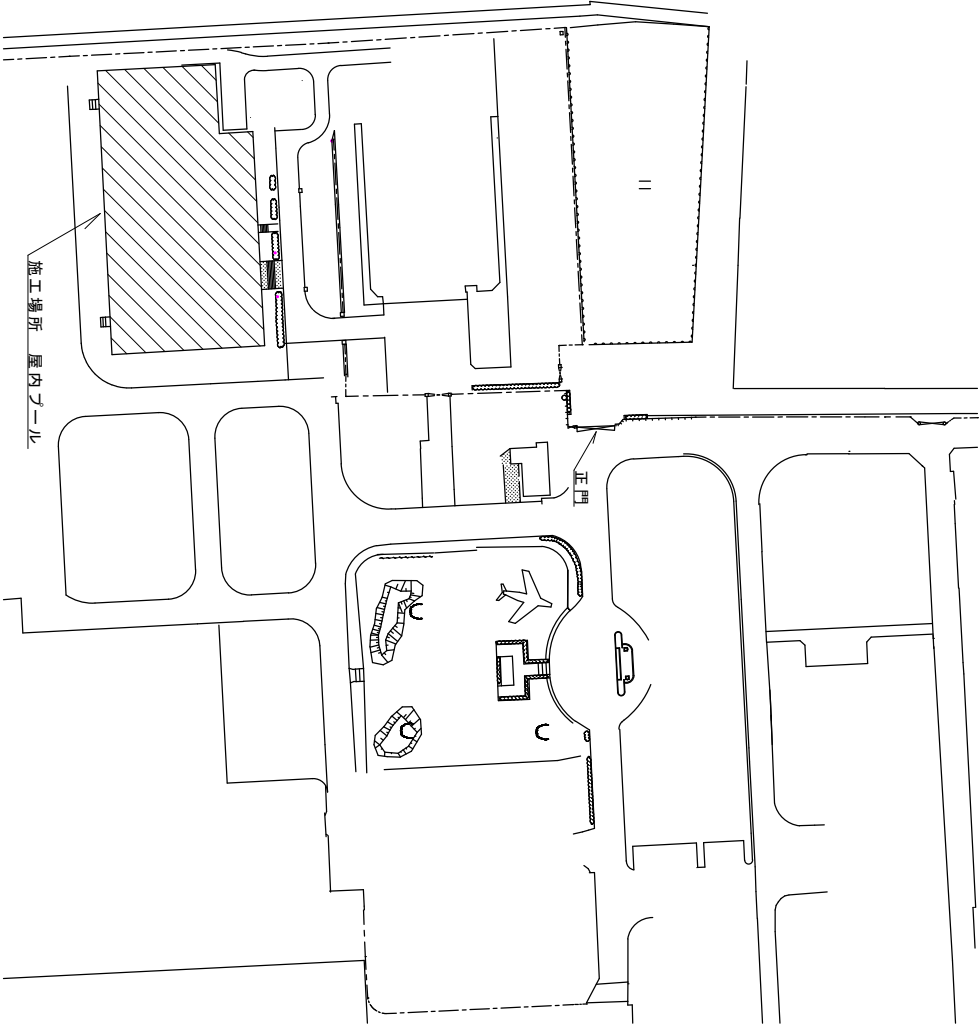
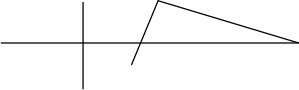
本工事は、石綿みなし工事とする。

なお、請負業者は、関係法令等に基づき必要な措置を講じるものとする。

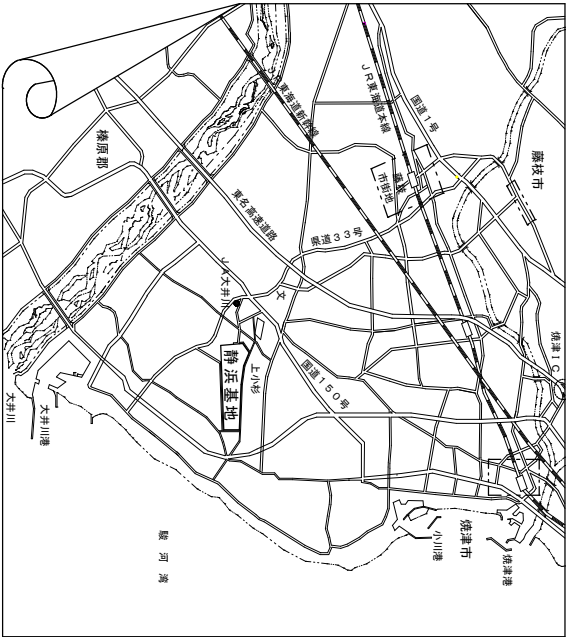
8 設計数量表

名 称	規 格	単位	数量
養生	搬出入路部分	m ²	61.9
整理清掃後片付け	搬出入路部分	m ²	61.9
整理清掃後片付け	施工場所(プールユニット)	m ²	750.0
底板接合部補修	FRPオーバーレイ2プライ W120	m	452.0
側板接合部補修	FRPオーバーレイ3プライ W120 H675(標準) ボルト締め(ピット内作業)共	箇所	29
側板接合部コーキング打替え	立面・オーバーフロー部	箇所	29
ガーター破損部補修 (床面隠ぺい溝)	上面FRPオーバーレイ2プライ W300	m	90.0
クラック・膨らみ補修	底板・側板 30か所程度	式	1
敷砂	0.074mm ふるい通過率20%以下 3t車程度	式	1
レーンライン塗装	紺色 1回塗り W200(側板、クロスマーク共)	本	7
距離ライン塗装	赤色 2回塗り W250(側板共)	本	3
漏水検査	水張り(満水)検査、循環口メクラ栓処置	式	1
石綿対策	飛散防止措置等	式	1
発生材処分	産業廃棄物収集運搬処分	式	1

工事件名	屋内プール漏水補修	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	



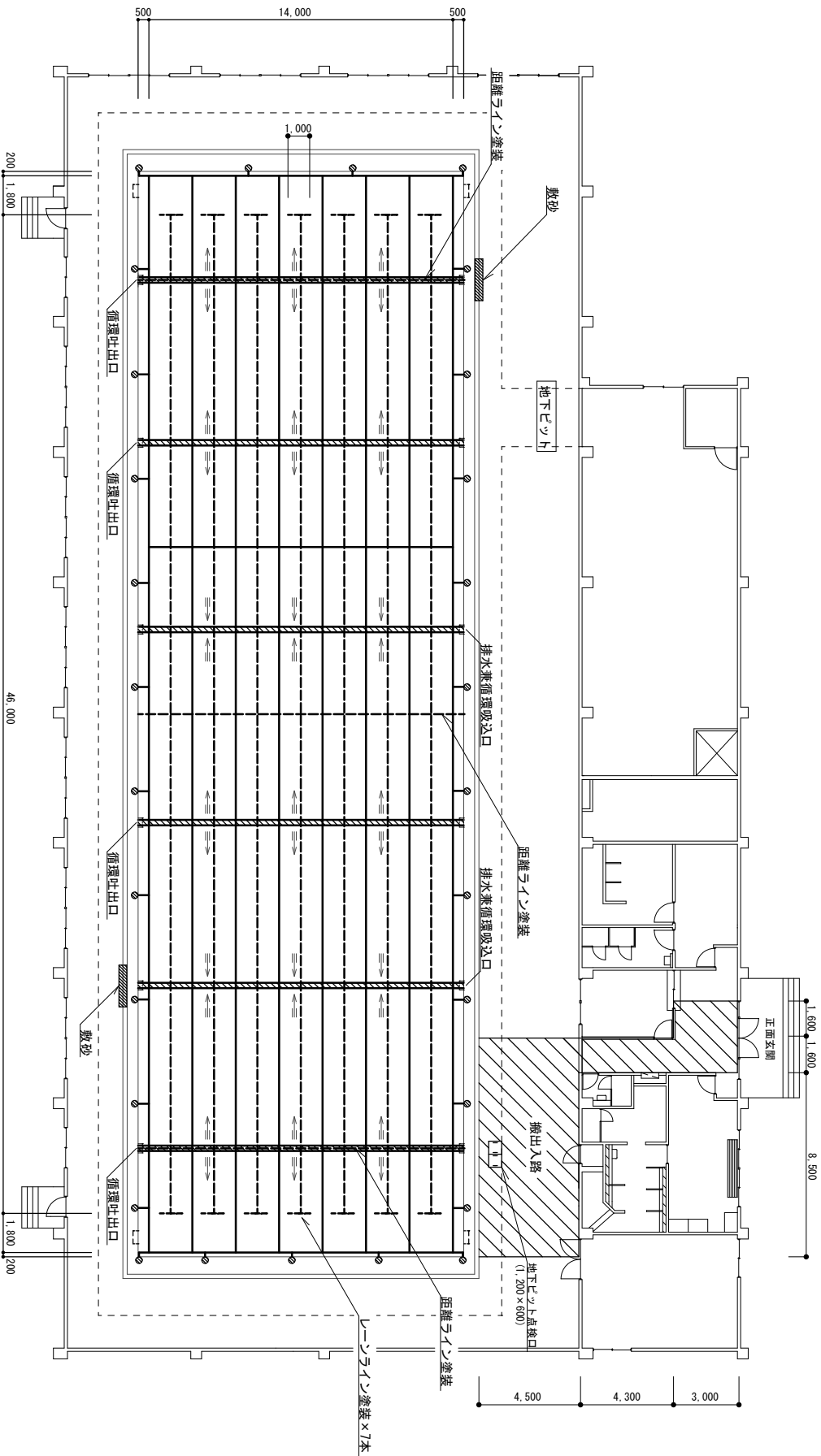
配置図



案内図

工事件名		図面名称	縮尺	図面番号
航空自衛隊	静浜基地 施設隊	案内図・配置図	N/S	1/3

工事関係者以外不許複製



凡例	
記号	名称
——	底板接合部
⊗	側板接合部
▨	カーター
----	ライン塗装

種目	規格等	数量
養生	搬出入路部分	61.9㎡
整理・清掃後片付け	搬出入路部分	61.9㎡
整理・清掃後片付け	施工場所(フェールユニット)	750.0㎡
底板接合部補修	FRPオーバーレイ2プライ W120	452.0㎡
側板接合部補修	FRPオーバーレイ3プライ W120 H675標準	29か所
	ボルト締め(ピット内作業)共	
側板接合部コーキング打替え	立面・オーバーフロー一部	29か所
カーター破損部補修(床面隠へい溝)	上面FRPオーバーレイ2プライ W300	90.0㎡

種目	規格等	数量
クラック・膨らみ補修	底板・側板 30か所程度	1式
敷砂	0.074mm ふるい通過率20%以下 3t重程度	1式
ラインライン塗装	紺色 1回塗り W200 (側板、クロスワーク共)	7本
距離ライン塗装	赤色 2回塗り W250 (側板共)	3本
漏水検査	水張り(漏水)検査 循環口メクラ栓処置	1式
石補対策	飛散防止措置等	1式
発生材処分	産業廃棄物収集運搬処分	1式

工事関係者以外不許複製

工事件名

屋内プール漏水補修

図面名称

航空自衛隊 静浜基地 施設隊

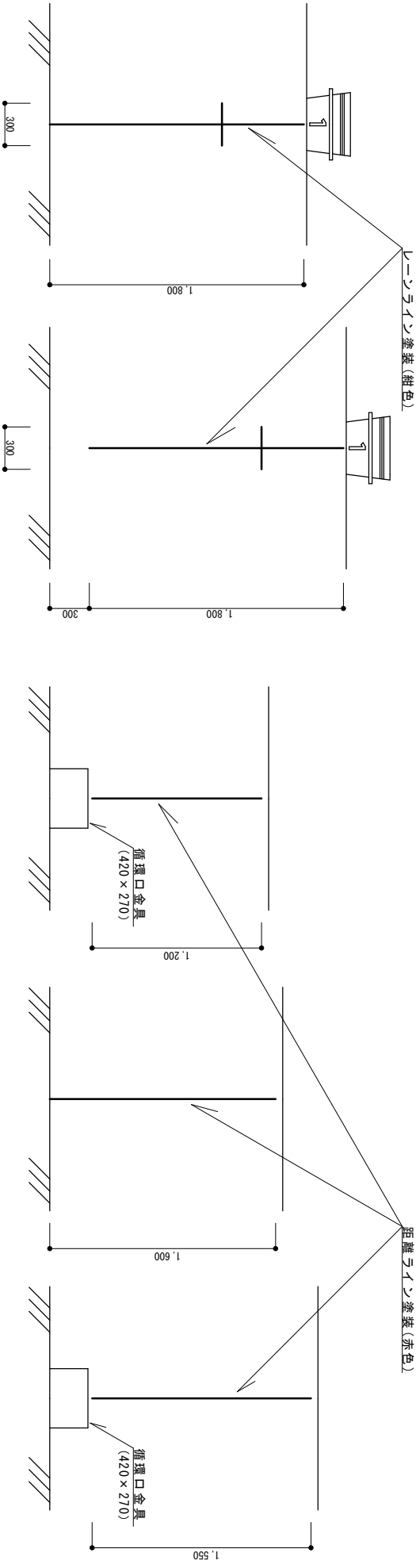
屋内プール平面図

縮尺

1/200

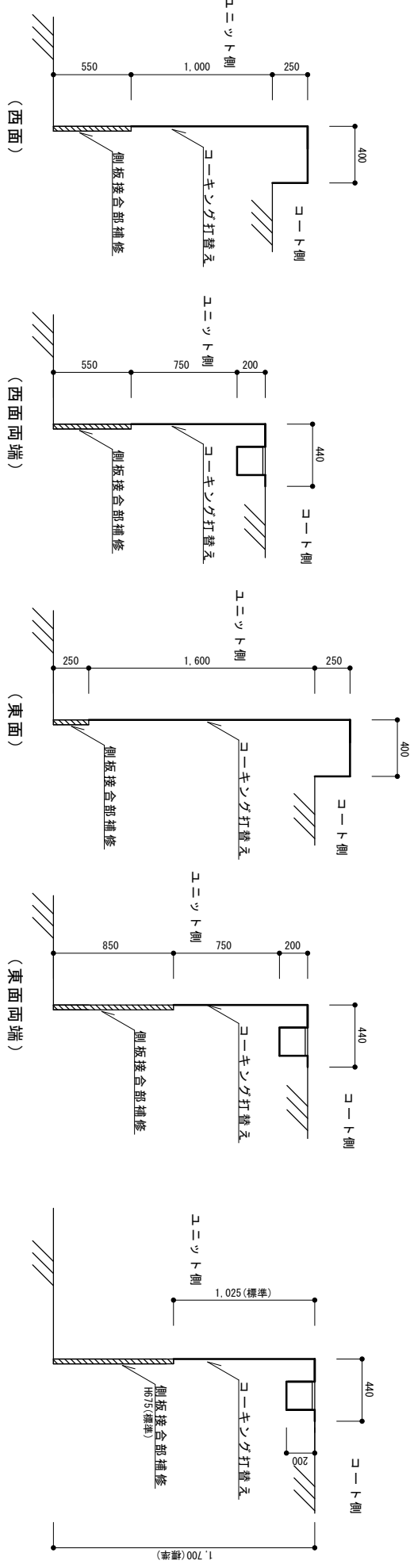
図面番号

2/3



(東西) 側板ライオン塗装立面図

(南北) 側板ライオン塗装立面図



(東西) 側板接合部断面図

(南北) 側板接合部断面図

工事件名		図面名称		縮尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		屋内プール漏水補修		1/30	3/3

工事関係者以外不許複製